

# ガイドボランティア講座



開催日 令和元年7月4日・11日・19日 3日間

岩見沢広域総合福祉センター・視力障がい者福祉センター・まなみーる館内

講話 岩見沢市視力障害者福祉協会 会長 佐々木栄一氏 「視力障がい者の日常について」



福祉センター内をガイドボランティア体験

北海道盲導犬協会  
指導部生活訓練士  
加藤千智氏  
盲導犬 ノエル君 5才



アイマスクをかけ一緒に街中歩きに挑戦

※ 受講者の感想 ※  
様々な体験や、ガイドボランティア「ほたる」の皆さんとの交流で白杖、盲導犬、そして二人三脚でのガイドには情報の交換が大事。また、支えあえる環境と、信頼関係が大切で必要と感じました。

## 作品紹介 出品ありがとうございました。

皆さんの趣味や特技を教えてください。ボランティアセンターで、お待ちしております。

ボランティアサークル  
『ひとみの会』 藤井良子さん

手話サークル 『エプロン』  
大富さん 大谷さん

### アクセサリ



澄んだ目で生きる意味問う 君二十歳  
大富嘉世子

川柳

ハイハイと 頷くだけの なまへんじ  
大谷ヒサコ

ボランティア活動に関する相談はボランティアコーディネーターがお受けいたします。  
あなたも、ボランティア活動に参加しませんか。  
連絡をお待ちしています。  
相談時間 月曜日から金曜日まで 10時30分～15時30分  
(土・日・祝日・お盆・年末年始はお休みします。)

## ボランティアセンター情報

2019.10発行 NO. 57

# おもしろあい

〒068-0031 岩見沢市1条西3丁目 岩見沢広域総合福祉センター  
岩見沢市ボランティアセンター TEL・FAX 25-5516  
岩見沢市社会福祉協議会 TEL 22-2960

## ボランティア愛ランドinえさし

令和元年9月28日(土)開催



### 記念講演 講師 牧 やすまさ 氏

(STVラジオ パーソナリティ)

「福祉、ボランティアを考える～スタジオからのあれこれ、いのちの電話の活動から」



第1分科会「幸せのおすそ分け」

講師 松村 俊昭氏

第2分科会「もっと素敵にレクリエーション」

講師 南部 広司氏



### 参加者の感想

(講演について)

日本で自殺する人が未遂も含めて、2016年53万人もいたそうです。他人が聞くと小さな事でも悩む本人にとっては命をかけるほどの悩みなのです。その悩みを電話で聞いてあげる。自殺を考えている人の命を助ける「いのちの電話」の話でした。話を聞かなくても、一度は悩んで命をたどると思うことは誰にでも起こることかもしれません。話を聞いてもらえる人がいる。それは大切なことだと思いました。



写真・録音ダメでのスタートで、少し印象が悪く始まったのですが、さすがプロの話術に引き込まれ、正直、聞きほれてしまった印象でした。取材中での多くのボランティアの経験話を話してくれて、最後の経験話では、共感の嗚咽を押さえるのに苦労しました。本当にいい話でした。

#### 第1分科会に参加して

松村さんの話は、里親として、各国をまわって実践した経験を聞き、自分たちには何が出来るかを考えさせられた。ボランティアのやり方についても、ただ物やお金を与えるだけではなく、ヒントを与えて頑張らせるやり方へ導くなど、いいお話だった。ひとりではできなくても、たくさん集まればできる絆というのは大事、つながっていく大切さを感じた。いい内容だった。

#### 第2分科会に参加して

話術に呑み込まれ笑っているうちに1時間30分はあっという間に終わった感じでした。両手両足を使ってリズム良く数をかぞえて1・2・3・・・同じ事が繰り返されるとできるのですが、なかなかやれない時もあり、老化を感じてしまいました。ボランティア交流会や研修会で南部氏のレクをやっていただけたら?と思いました。



# 児童・生徒のボランティア体験研修会



日時 令和元年8月8日(木)  
9時30分～15時10分  
会場 岩見沢広域総合福祉センター  
参加 市内の中・高校生21名  
協力 ボランティアセンター児童・生徒部会

講師 北 敏之 氏  
山下 徹 氏  
岩見沢市防災対策室



講師 安藤 友江 氏  
岩見沢友の会



我が家の備え



**テーマ「地震・災害時に備えて～防災グッズを作ろう～」**  
地震などの災害が発生した時自分たちに何が出来るか考える。講話やグループワークを通し、自宅や避難所において困ること、必要なものを考え、身近にある日用品を防災グッズとして活用してみよう。

**アイスブレイク**  
(場の雰囲気なごます)



非常食試食



- 体験研修会を通しての感想**
- ◇ 最初のアイスブレイクのおかげで、みんなと楽しく研修することができ、来年も来たいと思った。
  - ◇ 災害時に気を付けることや準備することを学べた。
  - ◇ 非常食の用意や災害ボランティア活動の時、準備するものを知ってよかった
  - ◇ 防災グッズを考え、実際に作ることは初めてで勉強になりました。
  - ◇ 自分たちの知らないところで防災対策が行われていることを知って安心した。
  - ◇ 身近なもので防災グッズが作れるので自分でも用意できそうと思った。
  - ◇ 講演で聞いたことを周囲にも広め今後、活かしていきたいと思えます。
  - ◇ 災害になる前に水、非常食等を用意すべきだなと思いました。

災害時の困りごとは? → 発表



グループ発表

防災グッズ作成



# 新サークル紹介

北海道手話通訳問題研究会  
空知支部岩見沢班



## ボランティアの会

代表 福村 輝子

**活動内容** 日舞(小曲・歌謡・舞踊・古典)を、老人福祉施設等で披露し、お茶を振る舞うなど、利用者との交流を行っています。



代表 井芹 栄

**活動内容** 岩見沢市内を中心として、手話を広く市民に普及するための出前講座学習を開催。また、ろうあ者の暮らしに係る情報を学びあい、取り巻く環境をより良くする活動を共に進めています。手話上達のための学習会を企画し、ボランティアから手話通訳活動者まで、幅広い学びの場を提供しています。

# はじめてのボランティア講座

講話 「ボランティアの心を考える ～たのしくボランティアをするために～」  
講師 岩見沢市ボランティアセンター センター長 内海 泰子 氏

**心構え・・・思いやり、心くばり、優しさ、気づきの心**  
相手が何を望んでいるのか。団体で行動するときは日誌を付ける。地域社会のことに目を向ける。謙虚な気持ちで行動する。失敗をおそれない。安心感を持ってもらうために、相手に寄り添いしっかりと受け止め聴く(傾聴)とお話されました。



## 実践報告

### 手話サークル「エプロン」

昭和63年に設立  
岩見沢広域総合福祉センター  
毎週水曜日 10時～12時

**活動内容**...手話、筆談、空書、口話、指文字、身振りを学びます。



「夕焼け小焼け」をみんなと一緒に手話で体験しました。



## 実践報告

### 岩見沢市こども読書会

昭和60年に設立 小学1年生から6年生まで  
5月から3月までの、全9回  
第1土曜日 10時～12時(岩見沢市立図書館)

**活動内容**...学年ごとに分かれて図書館が用意した本を声に出して読んだり、感想を話し合ったりしながら、読解力・表現力を高め、本に親しむ会です。



## 体験演習

### ガイドヘルプ体験

二人ペアになり、一人がアイマスクを付けて視覚障がいのある人の立場を、もう一人がその人をガイドする立場(交代)となって道路を歩いてみました。



### 車椅子体験

二人が交代で、介助する側と介助してもらう体験でした。実際に道路に出て、段差やスロープでの声掛けや気づきを学びました。



## 参加者の感想

- ・ボランティアに関してわかっていなくてわかっていなかったと思います。とてもためになる話でした。
- ・ボランティアの心構え等、勉強になり、二つのサークル活動も大変わかりやすく参考になりました。
- ・改めてボランティアの心を勉強して役に立ちました。
- ・いい体験をさせていただきました。